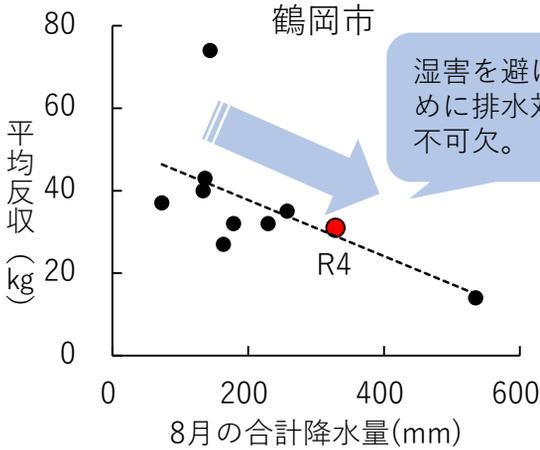


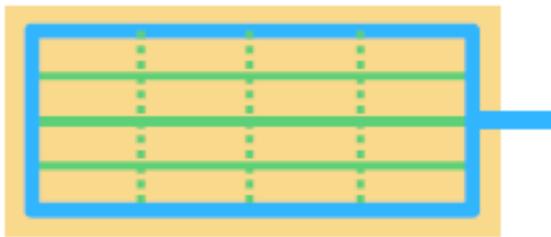
播種前の準備の良否が収量を決める！

1. 圃場の排水性の確保(最重要)



ソバの平均単収と8月の降水量の関係

※H25～R4の10カ年の鶴岡市の平均単収(農水省統計)とアメダスデータ鶴岡から作成。



額縁明渠 圃場内排水溝 補助暗渠

排水対策の模式図

◆ソバは湿害に弱く、特に播種直後から生育初期の湿害は収量を大幅に低下させます。出芽・生育確保のポイントは、**圃場表面に水を停滞させないこと**です。

◆ソバの平均単収は、8月の降水量が多いほど少ない傾向があります。例年8月は集中豪雨に見舞われます。必ず明渠、暗渠・補助暗渠を施工して降雨後すみやかに地下水位が下がるようにしましょう。

◆額縁暗渠は深さ30cmを確保し、圃場排水口に確実に排水できるようにしましょう。

◆圃場内にも排水溝を施工するとさらに効果的です。

◆補助暗渠(サブソイラ等)は深さ30cm前後、間隔は2～3mで施工し、明渠・暗渠と直交するように配置します。

2. 出芽率を高める耕起作業

◆直径1cm以下の土塊の割合(砕土率)は60%以上を目標にします。

◆耕起の深さは15cm以上、圃場が乾燥しているときに耕起します。

◆雑草の発生が見られる圃場では、圃場が乾いているときに播種前に耕起してすきこみます。



砕土率が低いと出芽率低下や雑草増加の原因に

3. 目標施肥量・土づくり資材

- ◆ 生育・収量の確保には適正な施肥量が必要です。ただし、過度の窒素施肥は徒長・倒伏に繋がるので避けましょう。野菜後作の場合は、窒素を施用せず、リン酸・カリのみを施用します。
- ◆ ソバはpH4.5以下の酸性土壌で生育が阻害されます。土壌pH6.0を目標に石灰資材等を投入し、徐々に改良していきます。
- ◆ 特にリン酸が不足すると生育量・収量が低下するので、十分な量を施肥しましょう。

表1 ソバの基準施肥量

成分	窒素	リン酸	カリ
kg/10a	2.0~4.0	6.0~9.0	6.0~9.0



リン酸肥料がそばの生育に与える影響

(農研機構九州沖縄農業研究センター「ソバ春まき栽培マニュアル」より)

4. 播種適期と播種量

表2 ソバの播種適期

播種適期(月日)	
平坦部	中山間
8月1日~8月10日	7月25日~8月5日

- ◆ ソバの早播きは徒長や倒伏を招き、遅播きは十分な生育量が確保できないうちに開花・結実し、減収につながります。

- ◆ 訪花昆虫の活発化する時期に開花期を合わせるため、また、結実・登熟に最適な気温・日照を確保するために、適期内に播種することが重要です。

- ◆ 天気予報を確認し、播種後に晴れの続く日をねらって播種します(播種後の大雨で出芽率が低下)。

- ◆ ドリル播きは播種深が均一になるため、安定した出芽が期待できます。ただし間隔が広いと雑草が繁茂するため、条間は20~30cmとします。

- ◆ 散播では、碎土率を十分(2cm以下の土塊が7割)にし、播種後にロータリー等で浅く土壤混和・覆土することで、苗立ち数を確保します。

表3 ソバの播種量

播種量(kg/10a)	
散播	条播
7~8	5~6

熱中症を予防しましょう!

暑い日は20分おきに休憩・水分補給!

